



2023年11月9日

各位

会社名 宮地エンジニアリンググループ株式会社
代表者名 代表取締役社長 青田重利
(コード番号3431 東証プライム市場)
問合せ先 執行役員企画・管理部長 遠藤彰信
(TEL 03-5649-0111)

剰余金の配当（中間配当）および当社設立20周年記念クオカードの配布についてのお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、下記のとおり2023年9月30日を基準日とする剰余金の配当（中間配当）を行うことを決議しましたので、お知らせいたします。

併せて、2023年8月9日公表の「資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について」においてご案内しておりました「当社設立20周年記念クオカード」のデザイン等が確定しましたので、お知らせいたします。

記

1. 剰余金の配当（中間配当）について

(1) 配当の内容

	決定額	直近の配当予想 (2023年8月9日公表)	前期実績 (2022年3月期中間)
基準日	2023年9月30日	同左	2022年9月30日
1株当たり配当金	170円00銭 (普通配当150円00銭) (記念配当20円00銭)	同左	60円00銭 (普通配当60円00銭)
配当金総額	1,156百万円	—	408百万円
効力発生日	2023年12月4日	—	2022年12月2日
配当原資	利益剰余金	—	利益剰余金

(2) 理由

当社は株主還元を経営の重要な施策と位置付けており、株主還元の維持・拡大を図ることとしております。1株当たりの配当額の維持とさらなる増配を目標として、中期経営計画（2022～2026年度）の利益目標を達成するとともに、好業績時には機動的な株主還元を実施し、中期経営計画の目標であるROE10%の達成に向けて、資本効率にも十分留意して自己資本の水準を適切にコントロールすると同時に、株主、ステークホルダーとの共通のコンセプトである持続的成長のための投資、一定の資本拡充など、バランスの良い資本政策を進めることを基本としております。

この方針に基づき、中期経営計画の最終年度である2026年度までの株主還元につきましては、総還元性向60%を目安として、自己資本比率55%を維持しつつ、ROE10%の達成を目指すこととし、2024年3月期の年間配当を1株当たり320円（ただし、2023年10月1日を効力発生日とする株式分割を考慮前）とすることを決議し、本年8月9日に公表いたしました。

2024年3月期の中間配当につきましては、同日公表の予想どおり、1株当たり170円（うち当社設立20周年記念配当20円）とすることといたしました。

（参考）年間配当の内訳

基準日	1株当たり配当金		
	第2四半期末	期末	合計
配当予想		75円00銭	—
当期実績（2024年3月期）	170円00銭 （普通配当150円） （記念配当20円）		
前期実績（2023年3月期）	60円00銭	80円00銭	140円00銭

（注）当社は2023年10月1日を効力発生日として当社普通株式1株につき2株の割合で株式分割を実施しておりますので、当期の配当予想（期末配当）につきましては当該株式分割後の株式数が対象となります。

また、当期の配当予想（年間合計）につきましては、単純に比較できないため表示しておりませんが、当該株式分割を考慮しない場合の期末配当は1株当たり150円に相当し、年間配当予想は1株当たり320円（当該株式分割が前期の期首に行われたと仮定した場合には160円）となり、前期の年間実績に対して180円（同90円）の増配となります。

2. 当社設立20周年記念クオカードの配布について

2023年8月9日公表の「資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について」においてご案内しておりましたとおり、当社は旧株式会社宮地鐵工所と旧宮地建設工業株式会社（2011年3月に両社が合併し、宮地エンジニアリング株式会社となる。）が株式移転により2003年9月29日に設立、東京証券取引所市場第一部に上場し、本年9月に20周年の節目（1908年の祖業となる旧宮地鐵工所創業から115周年）を迎えました。株主の皆様の日頃のご支援にお応えするため、2023年9月30日の最終の株主名簿に記録された単元株をご所有の株主の皆様にお配りする「当社設立20周年記念クオカード」のデザイン等が別紙のとおり確定しましたので、お知らせいたします。当社グループは、今後も橋梁、建築、沿岸構造物等の社会インフラの建設、維持・補修の事業を通じ、豊かな国土と明るい社会創りに貢献し続けてまいります。

以上

(別紙)



カードデザイン



台紙 _ 表面



台紙 _ 中面